

# 評価及び取組報告書

令和8年1月22日

学校法人万田学園 育英幼稚園

園長 上野 通子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。

評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

## 1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"> <li>水道は、途中使わない時は意識して止めよう。</li> <li>水を出す時は、指位の細さにして出そう。</li> <li><b>繰り返す資源の再利用。</b></li> <li><b>使い終わった排水を花壇や園庭に水をまこう。</b></li> <li>コピー用紙の裏紙を利用。</li> <li>段ボール等の再利用玩具作り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部屋の電気は、部屋を出る時は、消しましょう。</li> <li>消す等して、意識しながら取り組みましょう。</li> <li>暖房をあまり使わず、体を動かして運動(遊び)をする。</li> <li>冷暖房の室温の目安を設定いつでも換気を十分にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビン牛乳のラベル分別・・・プラクル ラベル。</li> <li>カレンダーの裏や使用済みポスターの裏紙利用、遊び用具、お知らせ等の紙に再利用。</li> <li><b>廃材利用・・・空き箱制作等の工作利用(ドラえもののポケット改良拡大)</b></li> </ul>

## 独自メニュー

### ○メニュー掲示

すべての環境への配慮する態度を育む。

やさしいひとことの声かけ合い「まみむめもったいない」

- ・まだつかえるよ
- ・みずはとめてね
- ・むだづかいはだめ
- ・めざせおさらピカピカ
- ・もったいない

今こそ優しい気持ちを伝え合いましょう。

**廃材利用・・・空き箱制作等の工作利用**

**(ドラえもののポケット改良拡大)**

保護者の方々も家や仕事場で子どもたちのためにたくさんの廃材を用意している。

それをみた子どもたちは常に心掛ける。

### ○腐葉土づくり

桜の落ち葉や雑草などを入れておくポットが、土となりとても良い腐葉土となった。秋の草花のプランタンや畑の肥料となった。

子どもたちは落ち葉の変化に驚いていた。



## ○植物づくり

柑橘系の木々・三つ葉・人参の葉っぱ・すみれの葉等 それぞれの蝶の幼虫のための園庭作成。  
 たくさんの蝶の成長の過程をみることに

たくさんの蝶のたまごや  
 幼虫がいて、日々の変化に  
 驚きと成長を見ることが  
 できた。



## 独自メニュー

子どもたちの活動の中では、自分たちのできることから取り組む姿勢作り。難しく考えず、身近にできることから取り組む。

- ・感謝の気持ちで食事を頂こう ・水筒やエコバックを持ち歩こう。
- ・手を洗い、清潔につとめよう。 ・植物を大切に育てよう。
- ・あそびや学びの機会を大切にしよう。 ・みんなでルールを作って守ろう
- ・水をたいせつに使用しよう。 ・「心のバリアフリー」を広げよう。
- ・電気をこまめに消そう。
- ・伝統行事にたずさわって、伝統を守ろう。
- ・地元の食べ物を楽しもう。
- ・お友だちと仲良く過ごそう。
- ・防災訓練に積極的に参加しよう。
- ・衣服を大切にしよう。 ・自転車や歩きで移動しよう。

この取り組みのおかげで、通常のティッシュペーパーの3分の1の減り方となる



## 2 講評・評価者からのアドバイス

評価者：  園長  教職員  その他 (  保護者 ) ・地域の方々

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

<p>P 計画                  役割分担やメニューの                  決定等について</p>	<p>I S O・SDGs を自分自身が進んでやる事が大切と気付く。                  各自の意識を高め、SDGs への持続可能なものへとになっていくようにする。</p>
--	---

D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	1人ひとりが協力して、お互いに声を掛け合いながら取り組んでいた。 ISOの取り組みからSDGsの取り組みへと各年齢に合わせた考え方を実践した。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	園の中で様々な「ISO・SDGs」に気付いたり、絵本を読んだりして、未来への 一歩に意識し始める。家庭からも発信して共育となっていた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	独自メニューに関して、項目を前年度の反省を踏まえて設定した「まみむめもっ たいたい」メニューが、活かされていた。
その他	長年実行しているのので、習慣化している。 保護者や先生方の協力（廃材等持参）があった。 毎年子どもたちは共通メニューを自然に行動できる。 育英幼稚園は、後2年で閉園となる予定なので、新規の独自メニューはしない つもりである。 このままでいいのなら後2年間続けるが、新しく取り込んでいくようであるな ら今年で取組報告書は終了としたい。

### 3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

子どもたちは、持続可能な社会作りSDGsと自然の楽しさ面白さ、不思議さ、大切さなど自然の持つ多様な魅力にも気づくことができた。

### 4 来年度に向けて（見直し結果）

- ・ISO・SDGsの行動目標は、園児に無理なくできるものを継続して取り組めるように図っている。
- ・絵本等を活用して、身近なことから心動かされたりして、「ミッケ」の絵本のように園内を探す楽しさにも触れ心も育てている。
- ・園での取り組みが、保護者も家庭で実行してくださるので共育となり子どもは迷うことなく取り組んでいる。
- ・教職員は、子どもたちに、持続可能な社会の創り手を育む教育を推し進めていくことを心掛けている。